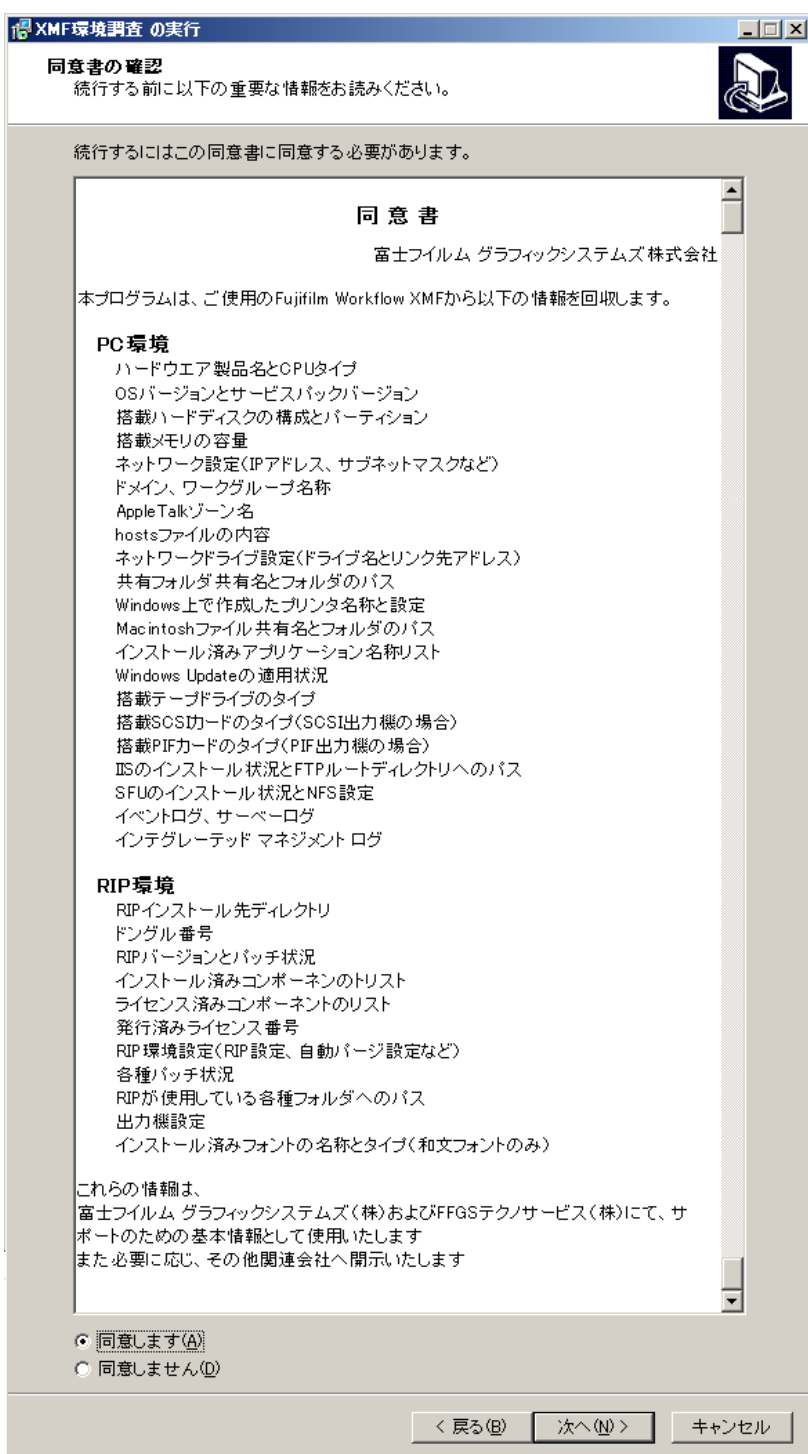




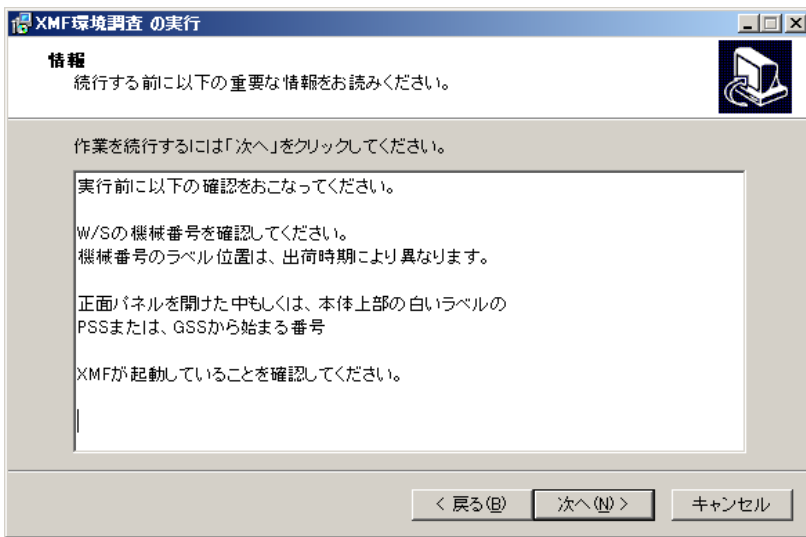
開始画面です。

『次へ』をクリックしてください。
『キャンセル』をクリックすると処理を中止できます。



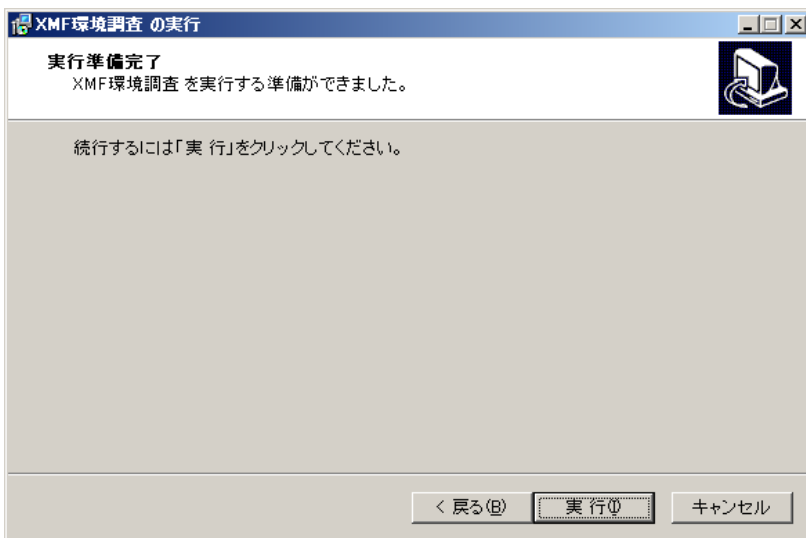
本調査にて回収する内容の一覧を表示します

同意しますにチェックして、『次へ』をクリックしてください。



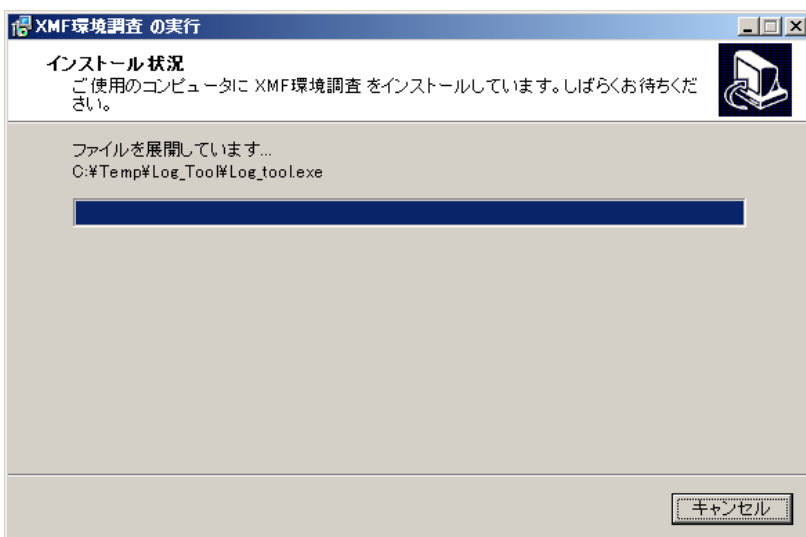
機械番号を確認するメッセージが出ます。

『次へ』をクリックしてください。



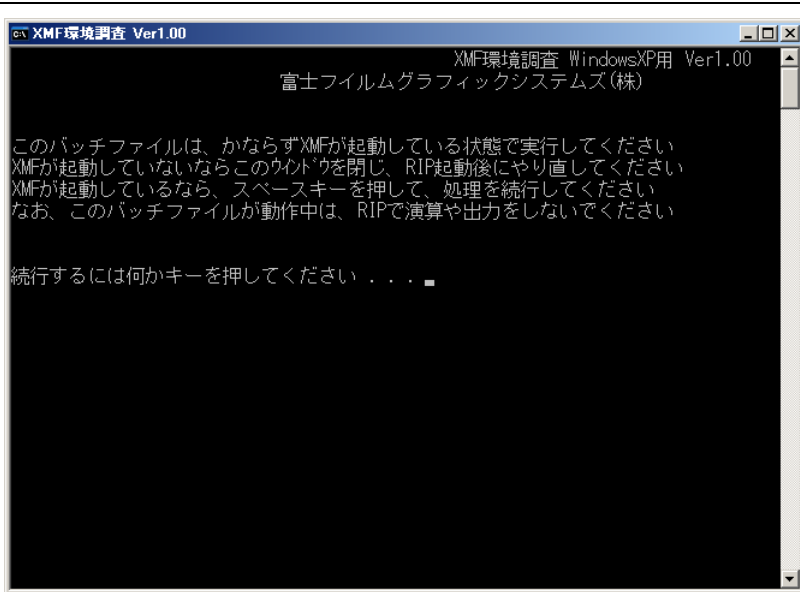
実行準備完了画面です。

『実行』をクリックしてください。



必要なソフトウェアのインストールをおこないます。

ここでインストールしたソフトウェアは作業完了時に削除されます。



スペースキーを押してください。

会社名と機械番号の入力

会社名と機械番号を入力して、実行ボタンを押してください。

会社名には、全角文字も使用できます。
機械番号は、PCのS/Nなど固有の番号・記号を入力してください。
※ BIOSから取得したSerialNumberをデフォルトでセットします。

注意：
ファイル名に使用できない文字「 ¥ / : * ? " < > | 」は入力できません。

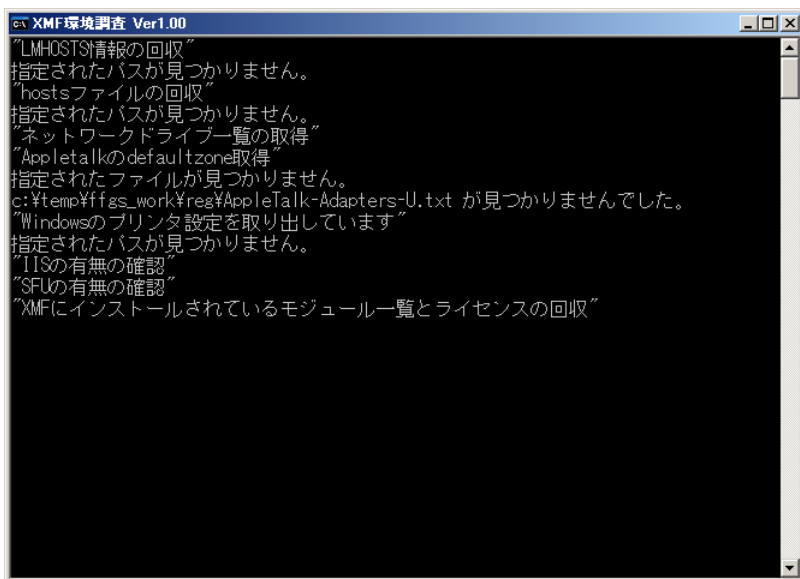
実行日 実行時間

会社名

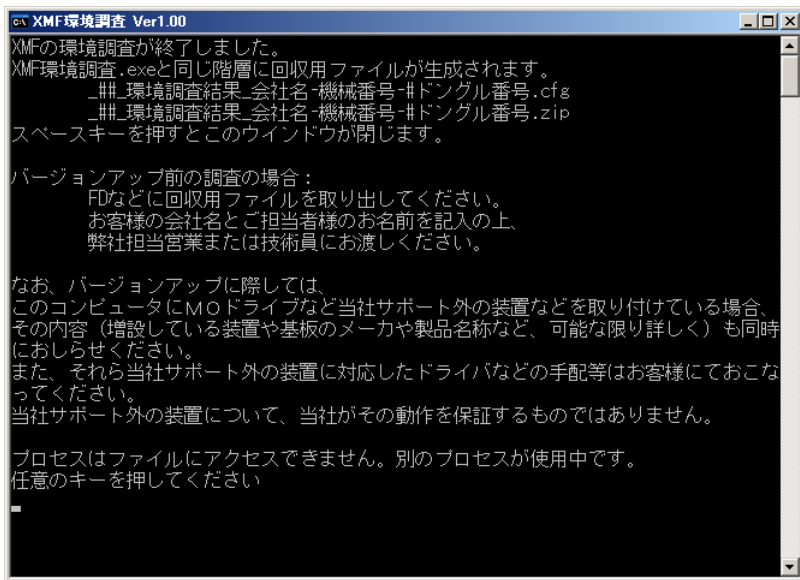
機械番号

会社名と機械番号を入力し、実行キーをクリックしてください。

環境調査-V300h で、機械番号に BIOS から取得した PC のシリアル番号を記入します。
実機のシリアル番号と同じことを確認してください。



実行中の画面です。



作業完了メッセージが出るまでお待ちください。

スペースキーを押すとウィンドウが閉じて作業が完了します。

環境調査.exe と同じ階層に回収用ファイルが生成されます。

##_PC 環境調査結果_会社名-機械番号.txt
##_PC 環境調査結果_会社名-機械番号.zip

XMF が動作している場

##_XMF 環境調査結果_会社名-機械番号.txt
##_XMF 環境調査結果_会社名-機械番号.zip

XMF Remote が動作している場

##_XMFRemote 環境調査結果_会社名-機械番号.txt
##_XMFRemote 環境調査結果_会社名-機械番号.zip

zip には、環境調査実行時の中間ファイルやイベントログなどのログ情報を含みます。